



# 内外海

公民館だより

【発行】  
内外海公民館  
小浜市阿納尻 43-10-1  
TEL&FAX 53-2724  
平成31年 3月25日

【HPアドレス】 [http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/kouminkan/utitomi\\_k/](http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/kouminkan/utitomi_k/)



## 内外海歴史特別講演会 「中世若狭海村の生業」開催

### 歴史の宝庫・内外海

3月9日(土) 久須夜交流センターにて、松浦義則 福井大学名誉教授による内外海歴史特別講演会「中世若狭海村の生業」が行われました(まちづくり協議会主催・区長会共催)。

三方から小浜にかけての若狭湾沿岸部の集落は、鎌倉時代から室町時代にかけて漁業、塩業、廻船業の三つの生業(産業)が盛んで、これら産業の日本の先進地域でした。

先生は、この多様な先進的産業を持つ集落の歴史を、漁村や浦という限定した呼称ではなく、広やかな意味の「海村」の歴史として話されました。

なかでも廻船業は、幕府北条家の庇護を受けて、北は津軽(青森県)から西は出雲国(島根県)まで出かけて交易を行ない、巨万の富を若狭の海村にもたらしていました。北条家から与えられて、田島泰家に伝来した、関税免除の当時の通行証である「過所船旗」は、現在、京都大学博物館に展示され、国の重要文化財に指定されています。

また、漁業においても飛魚網・はまち網・夜網・大網などの漁法で、当時の日本でもっとも先進的な漁業が営まれていました。これら若狭湾で獲れる魚を、京の都の公家たちは、「若狭の美物」と珍重していたそうです。

このほか、二条院讃岐と田島の関係についても言及され、私達の内外海地区は、日本屈指の中世漁村史料が残る歴史遺産の宝庫であると力説されました。

(文・中島嘉文)

## 内外海小学校卒業式

卒業おめでとうございます

3月14日(木)、平成30年度内外海小学校卒業証書授与式が挙行されました。早朝には薄曇りだった空も明るく晴れ上がってゆき、共に過ごした学び舎を後にして、夢に向かって新たなスタートを切る17名の卒業生を祝福するかのようでした。これからも「内外海っ子の志」を胸に頑張ってください。皆応援しています!



卒業式後、それぞれの「夢」を保管した「ばおんカプセル」前で、笑顔で記念撮影

### 平成30年度卒業生名簿

- 泉本 菜那(水取)
- 内田 庸聖(甲ヶ崎)
- 大谷圭次郎(泊)
- 奥城 義樹(仏谷)
- 上中保奈実(甲ヶ崎)
- 呉服ひなた(甲ヶ崎)
- 吹田 悠(甲ヶ崎)
- 高鳥 翼(加尾)
- 高鳥 快斗(田鳥)
- 田橋 真心(阿納尻)
- 中島 由衣(甲ヶ崎)
- 中村 千紘(堅海)
- 野村なつめ(堅海)
- 野村 葵夏(山手)
- 橋本心々遥(甲ヶ崎)
- 橋本 明基(田鳥)
- 濱頭 悠大(志積)

### 【4月の行事予定】

- 4月5日(金) 保福内外海保育園 入園式
- 内外海保育園
- 4月7日(日) 公民館公民館利用団体情報交換会
- 久須夜交流センター
- 4月7日(日) 選挙福井県知事選挙
- 福井県議会議員選挙
- 4月8日(月) 小義内外海小学校 入学式
- 内外海小学校
- 4月12日(金) 芝罘内外海地区 NPOもくろ会育成連絡協議会 総会
- 久須夜交流センター
- 4月16日(火) 体協内外海地区体育協会 総会
- 久須夜交流センター
- 4月21日(日) 選挙小浜市議会議員選挙
- 久須夜交流センター
- 旧田鳥保育園

### 【新年度開始の講座】

- 4月4日(木) から 英会話教室
- 毎週木曜日19時
- 5月8日(水) から 内外海地区元氣ハツラツ教室
- 毎月一回水曜日13時30分
- 申込用紙は公民館まで

### 〔4月の休館日〕

- 1日(月・定休)
- 6日(土・投票所準備日)
- 7日(日・投票日)
- 8日(月・定休)
- 15日(月・定休)
- 20日(土・投票所準備日)
- 21日(日・投票日・家庭の日)
- 22日(月・定休)
- 29日(月・定休・昭和の日)
- 30日(火・国民の休日)

公職選挙において久須夜交流センターは投票所となるため、投票日をまたぐ3日間は、終日全ての公民館業務を休止しますが、よろしくお願いたします。

（退任のご挨拶）

例年がないスコップを持たない暖かな冬が過ぎ、もうすぐ春を迎えようとしています。

昨年4月より区長会長の大役を受け、あつという間の一年が終わりました。その間、公民館長職員の方々、13地区の区長の皆さん、各種団体の皆さん、地区民の皆様には大変お世話になり一年を終えることができましたこと御礼申し上げます。

4月の小学校の卒業式から始まり3月の卒業式で終わり一緒に区長会長を卒業させていただきました。一年間各種行事に参加し、いろいろな方との交流もあり大変良い経験をさせていただきました。この経験をこれからの内外海のため、仕事に役立てたいと思っております。



5月からは元号も変わり新たな年となります。災害もなく内外海地区の発展と地区民皆様が幸せに暮らせますよう祈念し退任の挨拶とさせていただきます。言葉足らずですがご容赦下さい。ありがとうございます。



平成三十年度  
内外海地区区長会長

上丞 誠一

今年度をもって、内外海地区体育協会会長を退任させていただきました。内外海地区の皆さまには、在任中、体育協会の活動に対して、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。また、体協三役をはじめ、支部長、専門部長、体育委員の皆さま、そして公民館など関係者の皆様方には、大きなお力添えをいただきました。おかげさまで、会長の任を全うすることができました。本当にありがとうございました。

さて、今年度は50年ぶりとなる福井国体が開催され、小浜市でも全国トップレベルの試合で盛り上がりました。内外海体協の各大会も、それに負けないくらいの熱戦が繰り広げられ、選手の皆さんは良い笑顔で、時には真剣な表情で頑張っていたきました。残念ながら、国体日程等により今年度の体育祭は開催できませんでしたが、来年度は、また皆さんのハッスルする姿を体育祭で見られることを楽しみにしています。

思い起こせば、25歳で陸上副部長に始まり、体育指導員、バレーボール専門部長などを経て最終的に会長という大役まで任せていただきました。その間20余年、たいへん多くの勉強をさせていただきました。私の人生にとって重要な役割を占めていたと思います。かけがえない経験を積み重ねていただきました。

最近、20年前と比べると選手の参加人数も少なくなり、各地区体育委員の皆さんの選手集めも大変になってきております。少子化の時代になり難しい状態にはなっています。もう一度内外海愛を見つめなおしていただき、積極的に体協行事に参加していただけるように希望しています。



体を動かすことは健康にもつながりますし、体協行事は各地区どうしの親睦を深めるのにも非常に良い機会になると思います。体協の各行事が、一人でも多くの方が運動するきっかけになってくれることを願っています。

内外海体協のますますの発展と、役員皆様のご活躍を祈念し、退任のあいさつとさせていただきます。長い間ありがとうございました。

内外海地区体育協会会長

広田 延孝

平成三十年四月に「内外海地区子ども会」の会長という大役を仰せつかって、早一年、子ども会役員の皆様、保護者の皆様、学校、各種団体の方々や事務局の御力添えもあり、なんとか無事に一年間、務めさせて頂くことができました。私にとっては新たな視点や気づき、今までにない貴重な経験をさせて頂くことになりました。お世話になった皆様に、心より厚く御礼申し上げます。（次ページに続く）

泊区のみ仏を訪ねて⑨ 泊区の「かさのいんさん」

泊区の海照院の石段の所に、「かさのいんさん」と里人から親しく呼ばれている石仏があります。

これは「花山法皇」であります。

かつては内外海鉾山の安全を願って「三十三所観世音」と共に、山道への出発点に鎮座していたみ仏なのでしよう。

第六十五代花山天皇はやんごとなき身分でありながら、若い頃、最愛の人と死別し、信じていた側近にも裏切られ、帝位まで剥奪されて十九歳で法皇になられたと伝えられています。人生の無常を感じ傷心の身を信仰の道に求められ、巡礼の苦行をされたこと記されています。（西国巡礼の寺）

現在行われている西国巡礼道は法皇の歩まれた道だといわれています。衰退されかけていた観音道をふたたび興された偉業をもって中興の祖として崇められ、霊場札所の番外の元慶寺（京都）に落飾の寺としてお祀りされています。兵庫にも番外の花山院菩提寺があります。法皇の入寂の地とも伝えられています。

御詠歌

有馬富士ふもとの霧は海に似て

波かど聞けば小野の松風

播磨の地の雲海に浮かぶ有馬富士の美しい風景を詠まれたものと思われれます。



かさのいんさん（花山法皇）

「かさのいんさん」の石像の穏やかな微笑のお顔からは到底苦難の生涯は窺えず、ほのぼのとした優しさが漂っています。

今もなお村の人たちは朝な夕なにお参りをされお花を供えてお守りされています。

「三十三所観世音」や「かさのいんさん」に守られていた内外海鉾山も戦中の役割を終えて、今は知る人ぞ知るの存在で、当時の面影をわずかに留めています。

蘇洞門めぐりの観光船が松ヶ崎を越える辺りに小山と言われる断崖に岩山があります。そこが鉾山のあった場所なのです。坑道は波と風の音を聞きながらひっそりと歴史を伝えております。

若狭の語り部 倉谷千恵子

近年、少子化や休日の過ごし方が多様化し、子ども会活動が衰退する現状の中、内外海地区子ども会では、アット・ザ・サイエンスや宿題会、木工教室、工作教室等沢山の子ども達に参加していただき、盛大に開催することができました。子どもたちは、機会さえあれば、生き生きと楽しみ、学び、成長していきます。地区を超えた活動や交流等、私達大人が機会を増やしてあげられれば、より多くの笑顔が生まれるのかな、と活動を通して感じた次第です。

最後になりましたが、来年度も新役員の皆様を中心に、活発に子ども会活動が展開されることを祈念いたしますとともに、保護者の皆様や、学校・地域の方々におかれましては、相変わりますよう、御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。



内外海地区

子ども会育成連絡協議会会長

下丞 由明